

赤穂浪士 天の巻・地の巻（1956）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 151分
初公開日 1956/01/15

【解説】

東映創立十周年を記念して製作された、オールスターキャストによる作品。おなじみ忠臣蔵を扱った大佛次郎の小説『赤穂浪士』を原作に「狼」の新藤兼人が脚本を執筆し「多羅尾伴内シリーズ」の松田定次がメガホンをとった。立花左近を演じた片岡千恵蔵、大石内蔵助を演じた市川右太衛門の重厚な芝居が印象的。

元禄十三年、江戸城内で浅野内匠頭が吉良上野介を斬りつける事件が発生。浅野内匠頭は即刻切腹、浅野家はお家断絶の処分を受けた。上杉家家老の千坂兵部は浪人の堀田隼人と泥棒の蜘蛛の陣十郎を、隠密として赤穂に放つ。赤穂城受け渡しをすませた浅野家城代家老の大石内蔵助は、妻子と別居し京都で放蕩三昧の生活を続けていた。他の浪士たちも新しい生活を求めて江戸や他藩に移って行ったが、用心深い千坂は吉良家に小林平七を付人として送り込んだ。浪士たちの中には、大石に不審を抱き脱落する者まで出てきていたが…。

【クレジット】

監督	松田定次	
製作	大川博	
企画	マキノ光雄	
	山崎真市郎	
	坪井与	
	大森康正	
	玉木潤一郎	
	辻野力弥	
	岡田茂	
原作	大佛次郎	
脚色	新藤兼人	
撮影	川崎新太郎	
美術	角井平吉	
	森幹男	
編集	宮本信太郎	
音楽	深井史郎	
助監督	松村昌治	
出演	片岡千恵蔵	立花左近
	月形龍之介	吉良上野介
	薄田研二	堀部弥兵衛
	堀雄二	堀部安兵衛
	原健策	片岡源五右衛門

片岡栄二郎	毛利小平太
植木基晴	吉千代
清川荘司	渋谷伝蔵
百々木直	梶川与惣兵衛
神田隆	小平太の兄
月形哲之介	武林唯七
河部五郎	権太夫
中村時十郎	真野金吾
加藤嘉	小野寺十内
河野秋武	目玉の金助
龍崎一郎	脇坂淡路守
進藤英太郎	蜘蛛の陣十郎
中村錦之助	小山田庄左衛門
大友柳太朗	堀田隼人
東千代之介	浅野内匠頭
小杉勇	千坂兵部
宇佐美淳	柳沢出羽守
三島雅夫	丸岡朴庵
三条雅也	大高源吾
高木二郎	片田勇之進
高松錦之助	穂積惣右衛門
明石潮	安井彦右衛門
丘郁夫	関久和
葛木香一	牟岐平右衛門
伊藤亮英	三国屋五平
中野雅晴	磯貝十郎左衛門
岸田一夫	朴庵の弟子
香川良介	大野九郎兵衛
沢田清	将軍綱吉
吉田義夫	石屋の源六
藤川弘	清水一学
杉狂児	松原多仲
加賀邦男	小林平七
東宮秀樹	上杉綱憲
三浦光子	大右妻りく
高千穂ひづる	お仙
田代百合子	さち
浦里はるみ	お柳
植木千恵	おくう
吉井待子	しのぶの女中
毛利菊枝	宗偏の妻
赤木春恵	長屋のお内儀
六条奈美子	弥兵衛の妻 若
鳳衣子	京の料亭仲居 お米
松浦築枝	十内の妻 丹

八汐路恵子	京の料亭仲居 お菊
星美智子	安兵衛の妻 幸
千原しのぶ	夕露太夫
喜多川千鶴	お千賀
伏見扇太郎	大石主税
市川右太衛門	大石内蔵助